



# 新生兵庫友の会

発行: 新生兵庫友の会  
〒650-0023  
神戸市中央区栄町通  
4-2-18 キンキビルデ  
ィング5階  
TEL:(078)362-1700  
FAX:(078)362-1706

## きずな No. 79

平成20年10月25日(土)

ホームページ <http://www.idotoshi.net> Eメール [ido@idotoshi.net](mailto:ido@idotoshi.net)

### 中隠に遊ぶむと思へども

(明石市) 森 俊人

気象変動の異常には、二十世紀後半から気付いていましたが、最近特に、その激しさを感じましたので、五年前の秋、古稀を間近にして「七十といえども」と題して投稿し、『きずな』22号に掲載頂きました。今回はその続編であります。

「中隠」とは白居易の言った言葉で、市井に在って隠れる「大隠」と山に在って隠れる「小隠」との中間の事で、予々、天然林への憧れと、帰隠願望があり、せめて致仕後は非日常の時空に遊びたく、仙遊と号して颯句会に入れて頂いています。

季節感を大切に作る俳句は、平安中期の歌枕由来の季題・季語を詠み込む日本独自の文芸ですが、その後、季題・季語は増加して、小型歳時記でさえ、約二千五百題・五千語も載っています。その大本の平安文芸は、唐や漢の詩文だけでなく、古代の歌謡集など多くの漢籍を参考にしていると言われます。しかも、それらの文芸の季節感は最近まで大きく違うことはありませんでした。

しかし今日、この地球では、宗教や文化、価値観の違いによる戦争は絶えず、その破壊の様は昔とは比べ物になりません。また、生活文明や産業競争、それに応える科学技術の進展も止まる事を知りません。自然環境の異変は悪化の一途で、季語のもととして大切な季節感が狂ってきています。

急速な砂漠化や海面上昇等の環境変化と巨大台風や大早魘等の気象変動とが相互に因果を繰り返し、予想外で未経験の気候変動を起こしています。この青い星の寿命の尽きる速度さえ加速され、進化を続けて来た多様な生物の生態系、種、遺伝子等の損失速度が千倍にもなっていると聞きます。

「国敗れて山河在り」で始まる杜甫の詩は約千二百五十年前の物です。国が敗れて、花は涙を濺ぎ、鳥は驚嘆し、烽火は続き、家族の音信も絶え、詩人

は頭髪が抜け落ちるばかりと嘆くが、翌春には草木の蘇る自然のあったことが、この詩から窺えます。しかし今や、これまでの季語が通用しない自然現象が起きています。やがて、「国敗れて山河無し、城春に至らず、花鳥滅す」となりはしないか心配です。

今年は、生物多様性基本法が成立し、G8の洞爺湖サミットの議長国でもあります。個人としても、持続可能な地球環境保全のため、資源・エネルギーの適正利活用は当然と心得ています。どうか、季語の通用する自然環境の回復が進み、中隠に遊ぶ時空の続くことを祈っております。(戊子夏至)

今日の鮪けふの川瀬に遊びをり 仙遊

### 「人とわんちゃん」が織りなす

#### 感動の物語

(明石市) 井尻 喜三郎

正月2日映画館のある近くのカナートに出かけた。マーケット部門は買物客でごったがえしていたが、映画館は入館者僅か12人。広い暗黒の空間で誰はばかりことなく泣いた。上映されていたのは「マリと子犬の物語」新潟県山古志村(現・長岡市)に代々暮らす石川家は父と息子とその妹そして頑固な祖父の4人家族。

ある日息子と妹はいつもの遊び場の原っぱで“かわいがって下さい”と書かれた段ボール箱に捨てられていた子犬と出会う。妹は帰り道どこまでもついてくる子犬を見捨てることができなかった。父は大の犬嫌いであったが祖父と一緒にあって父にその子犬を飼うことを説得した。子犬は「マリ」と名づけられ石川家の家族となった。04年マリは成長し、3匹の子犬を生んだ。新しい家族の誕生に石川家は大喜び。

04年10月23日新潟県中越地震発生。一瞬にして山は崩れ、地面は裂け家々は崩れ落ちた。祖父と

妹は倒壊した家の下敷になった。薄れゆく意識の中で祖父はマリの声にハッとした。マリはガレキの中にもぐり込み、体中を傷だらけにして2人のもとに寄ってきた。そして元気づけるように2人の顔を舐めるのだった。

山古志村に自衛隊のヘリがやってきた。マリは倒壊した石川家に自衛隊員を見事誘導し、祖父と妹を無事救出した。しかし、マリ達は動物であるためヘリに乗せることはできず山古志村に置き去りにされた。息子と妹は山古志村に残されたマリ達を助けたい一念でけわしい山道に向かった。

途中豪雨に合い遭難の危険・・・だがマリ達との感動の出合へとスクリーンは展開。紙面の関係でこの程度にとどめるが、映画が終わり、館内が明るくなった。みんな目頭が赤い。50歳ぐらいの女性が私に「いい正月映画だったね。」といった。

ずっとずっと昔のこと、私は人とわんちゃんのもう一つの感動的な物語を忘れることができない。盲導犬サーブ(メスのシェパード)は82年岐阜県内の雪の国道で主人のマッサージ師亀山道夫さんを誘導していたとき乗用車にはねられた。亀山さんをかばおうと前に出たサーブは、左前足を切断する重傷を負ったが、亀山さんはサーブのお蔭で軽傷ですんだ。

長い間お世話になったお礼にサーブと一緒に音楽を聴きたいと名古屋市の中部盲導犬協会を通じて愛知県医師会管弦楽団にお願いをした。「次の定期演奏会でご招待」とすぐ快よいご返事をいただいたが、そのときサーブの健康状態がよくなかったため急遽予定を変更し亀山さんとサーブだけのコンサートが愛知県医師会館で開かれた。

その後サーブは盲導犬協会とか獣医病院等で余生を送っていたが事故から6年後静かにこの世を去った。(11歳・老衰死)中部盲導犬協会で営まれたサーブのお分かれ会には600人の人達が参加し又中曽根前首相から弔電が届けられた。(88年6月27日毎日新聞余録)

生存していたときサーブは米国テキサス州から名誉犬の称号を贈られた他児童用絵本にもなり、JR名古屋駅前には銅像が立ち希望と夢の象徴として今も多くの人達に語り継がれている。

最近ではペットブームで人の犬に対する一方向の溺愛とか過度の動物の健康管理等の記事を見るが、私はやはり人と犬との相互の濃密な純愛物語?が好きだ。昨年10月松浦理英子さんの「犬身」が出版されたので「これだ」と期待して読んだ。

確かに「南総里見八犬伝」とかいギー・ポップの名曲「アイ・ウォナ・ビー・ユア・ドック」等まで人と犬をめぐるカルトな蘊蓄がちりばめられているが、私には年代的、感覚的に合わない面があり、

何ともあと味の悪さが残った。

## まつりごとを読む姿勢

(姫路市) 井上 正敏

去る9月末、招集された臨時国会の冒頭、麻生総理大臣は、所信表明演説の中で次のように述べている。

「第92代内閣総理大臣に就任いたしました。わたしの前に、58人の総理が列しておいでです。118年になんなんとする、憲政の大河があります・・・」

つまり、日本が議院内閣制の立憲国家になって118年たつが、この間に自分を含めると59人が首相になっているとのことである。と言うことは単純計算すると1人が2年平均総理大臣をつとめたことになる。

かつて、戦後第4位の総理在任期間記録5年19日をもつ中曽根康弘氏の後を継いだ故竹下登氏は

「歌手一年、総理二年の使い棄て」とメイ言を残した。これが平成の世になると在任期間がもっと短縮、スピードアップし、平成20年の間に14人の総理が誕生したが、戦後第3位の記録を持つ小泉純一郎氏の5年3か月を除くと14年間に13人の首相が入れ替わったことになる。これを竹下流に表現すれば

「歌手一年、総理も一年しかもたず」ではないか。

いずれにせよ一国を代表する政治のトップが1年前後で交替する国は、日本をおいて他に類例を見ない。

他国から、この国を観た場合、平和を標榜する経済先進国日本と自負しても、全く不可解な国としか映らないのではないかと危惧するひとりである。

加えて、参議院では野党が過半数を占めるという「ねじれ現象」が生じており、政局は混迷し、いつ衆議院の解散総選挙が行われるか予断を許さない緊迫した現況下にある。

そこで「新生兵庫友の会」各位に提案したいことがある。いずれ近いうちに行われる衆議院の総選挙に際し、各陣営の戦いぶりを、本腰を入れて真剣に学んではどうであろうか。何の為の「常在戦場体験か」。先見性に富む諸兄は十分におわかりのことと思う。来年の7月に想いを馳せようではないか。

## 同好会だより

### □俳句同好会

- ・と き 11月 1日(土) 13時～
- ・と ころ 職員会館2階 208号室
- ・兼 題 時雨・帰り花・石露の花
- ・その他 欠席の方は佐藤源太郎までご連絡下さい。

### □男の料理教室同好会

- ・と き 11月8日(土) 13時30分～
- ・と ころ 「むぎっこ」TEL 078-333-0628  
神戸市中央区下山手通3、シエンビル403号室
- ・会 費 3,000円(当日徴収)  
～10月の教室～

- ①根菜のさつま揚げ ②手作りチャーシュー  
③もやし鍋 ④柿ときゅうりの津軽あえ  
⑤きんぴらごぼう ⑥そば打ち

### □写真同好会 ～11月は1泊2日の撮影会～

- ・行き先 石鎚山(愛媛県)
- ・と き 11月19日～20日(一泊)
- ・集 合 JR明石駅北側 午前8時
- ・宿 泊 国民宿舎「石鎚」
- ・行 程 高速松山道→いよ小松→R494(石鎚の西側を迂回)→石鎚スカイライン→宿舎

### □テニス同好会

- ・と き 11月13日、27日(木)  
午後1時～5時
- ・と ころ 神戸ローンテニス倶楽部  
神戸市中央区宮本通1-1-1  
Tel: 078-221-2383, 078-291-0809
- ・申込み 参加希望の方は阿部(078-792-0586)までご連絡ください。

### □ワイン同好会

- ・と き 11月20日(木) 18時10分～
- ・と ころ ワインセラー「ヒラオカ」TEL 341-2563
- ・会 費 3,000円
- ・テーマ ボジョレー・ヌーボー
- ・申込みは同封のハガキで。

### □ダンス同好会

健康のため、リズムにのって楽しくダンスを踊ってみませんか。皆様方のご参加をお待ちしています。準備の都合がございますので、ご参加希望の方は下記までお電話ください。

- ・と き 11月22日(土) 13時30分～16時迄
- ・と ころ 職員会館1階 ホール

- ・参加費 500円
- ・連絡先 平崎(078-707-5868)  
後田(078-914-8849)

### □ハイキング同好会

#### 伏見稲荷大社と寺田屋

11月は、商売繁盛の神様、伏見稲荷大社と坂本龍馬が活躍した風情あふれる酒蔵の町、伏見、桃山を訪ねます。多数のご参加をお待ちしております。

- ・と き 11月29日(土) 10時10分集合
- ・集合場所 JR稲荷駅、改札口前
- ・行 程 JR稲荷駅→伏見稲荷大社→JR稲荷駅(電車)→JR桃山駅→御香宮神社→月桂冠大倉記念館→伏見・十石舟のりば→寺田屋→松本酒造和蔵→黄桜記念館→JR桃山駅(解散)
- ・交 通 JR明石(新快速)8:34→三宮8:50→芦屋8:59→大阪9:15→京都9:44 奈良線乗換え9:53(普通)→稲荷9:58
- ・その他 小雨決行、弁当持参

### □ゴルフ同好会

#### 第20回ゴルフコンペの結果

#### ～実力者の名代さんが初優勝～

20回目の節目のコンペが、9月19日(金)三木よかわゴルフカントリークラブで開催、心配していた天候も昼前の一時の降雨だけ…、36名が参加した。入賞者は次のとおり。(敬称略)

- 優 勝 名代敬一(G85、H14、N71)  
第2位 岡崎俊忠(G91、H20、N71)  
第3位 中尾清二(G91、H18、N73)  
第4位 稲垣裕子(G99、H25、N74)  
第5位 金山 實(G100、H25.2、N74.8)  
B B 河江雄三(G104、H11、N93)  
ベスト名代敬一(85)

#### 第21回ゴルフコンペのお知らせ

- ・と き 11月26日(水) 7時45分集合  
スタート 8時14分  
アウト、イン 各6組 48人
- ・と ころ 六甲国際ゴルフ倶楽部(西コース)  
神戸市北区山田町西下字押部谷15  
TEL 078-581-2331
- ・会 費 2,000円(当日受付で頂きます)
- ・プレイ 9,620円(セルフです)  
昼食代等は別料金です。
- ・申込み 同封のハガキで11月13日(火)迄
- ・連 絡 申込み頂いた方には、特に連絡はしませんので、当日ゴルフ場へお越しください。

会 員 短 信

□住所変更 足立 正己 (名簿P 2 1行目)
〒657-0013
神戸市灘区六甲台町9番1-704号

訃 報 謹んでご冥福をお祈りします。

榎野 八郎さん 9月26日(72歳)
水野 俊一さん 10月5日(86歳)

☆新年号掲載 エッセイ募集☆

新春への思い、趣味、旅の思い出、時評、
地域の話などご自由にお書きください。
字数は800字~1000字程度、ワードや
一太郎、メールでの投稿も歓迎します。

締切り 12月12日(金)
送り先 新生兵庫友の会事務局



井戸知事さんの「街頭トーク」

次回は11月19日(水)朝
JR伊丹駅前「史跡有岡城趾」横歩道で
10月3日(金)午前7時45分より、J
R・山陽明石駅南側歩道上で約30分間県内
情勢について県民に語りかけました。次回は
11月19日(水)午前7時45分から8時
15分までJR伊丹駅前「史跡有岡城趾」歩
道横で実施予定です。ご参集の方は事前に予
定変更の有無を事務局までお問い合わせくだ
さい。

第一五六回 颯 句 会 (平成二十年十月四日、十二名、六十句)

(兼題) 長月、さんま、木の实

選者 盛岡翠月

天 賞

コバルトに焼かれし妻のさんま腸

赤 木しげみち

(評) 凡その世は生病死、苦の海だ。この苦海から人々を救いあげるのは「愛」
つまり思いやりである。掲句は妻の闘病の苦を表に、裏に夫(作者)の思いやりを
秘めた夫婦愛の句である。作者の家庭の中までは知らないが、句で見る限り奥様は
放射線照射をうけるご病氣、作者はその介護におられる日々と推察される。今しも
コバルト治療をうけて帰った妻に、夫は焼いたさんまでこれを迎えた。妻は苦味の
腸(わた)にまで箸をつけてくれた...と食卓の一コマをさりげなく諷いあげた。

「焼かれし」には闘病の不安と孤独、夫の思いやりの心と傷ましさを託した。また
「コバルトと腸」のとり合せはまこと凄惨、闘病の壮絶なる様が滲み出て、苦の無
残さを思いしらされる。言葉遊びではなく、掲句は表現を一切かまわず、身をよじ
り悲哀を絞り出したからこそ人々の心の深奥を抉る佳句を得たのだ。「苦と愛」を
夫婦で紡いだ眩しい綾織物。ただただご全快を。

地 賞

木の实落つやがて湖底に消ゆる邑

佐藤げんたろう

古都恋の色とぞ思ふ式部の実

中 森 眞 木

恙無く一日の暮れてさんま二尾

森 仙 游

人 賞

訣別や皿のさいらの骨一條

本 下 汀 藻

なほらひに手馴れし人の焼秋刀魚

西 條 秋 泉

木の实落つ芽生え千年生きんとて

安 平 純 月

これがまあ御食つ国かな贅秋刀魚

打 越 碧 山

湯もみ板干して湯の宿菊の秋

上 原 まさ

胸中にふるさとの山木の实落つ

谷 本 邑

長月や畑作業を急かす暮

森 田 公 望

椎の实を拾いし頃のなつかしき

外 山 公 望

選者 吟

穂高にて

炎(ひ)を吐くが如き句の欲し一位の実